

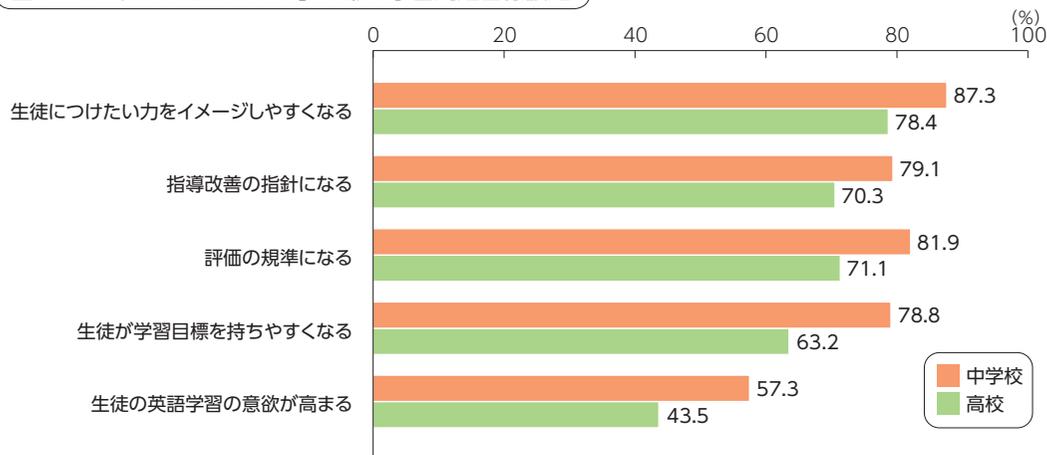
3. 英語教育改革について

「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標設定の意義は理解されている。

「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標の役立ちは、「CAN-DOリスト」の設定がすでに実行されている高校よりも、中学校の方が感じている。

Q 「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標を設定することは、どのようなことに役立つと思いますか。

図3-1 「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標設定



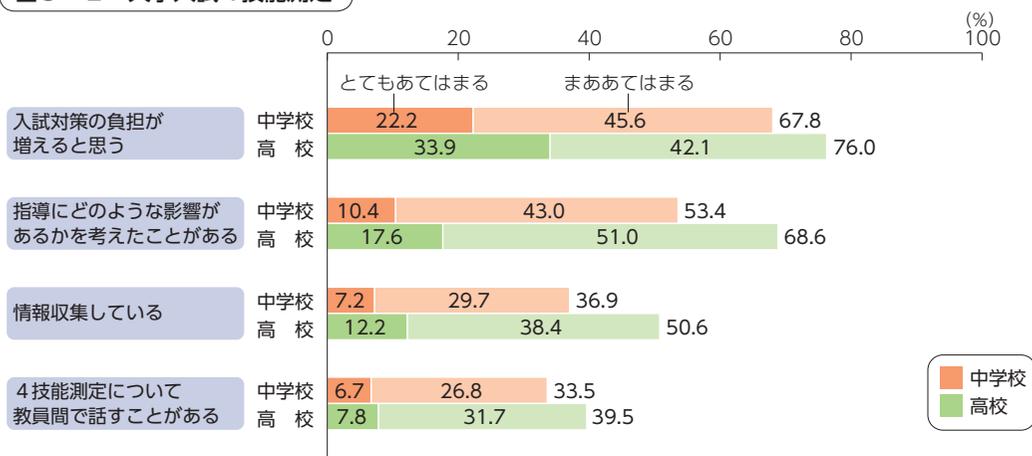
*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

大学入試4技能測定に対して、中高ともに7割前後が「負担が増える」と回答。

大学入試4技能測定については、入試対策の負担が増えるという意見がもっとも多かった。いずれの項目も大学入試が身近である高校の方が数値が高かった。

Q 大学入試を4技能で測定することについて検討されていますが、次のようなことはあてはまりますか。

図3-2 大学入試4技能測定



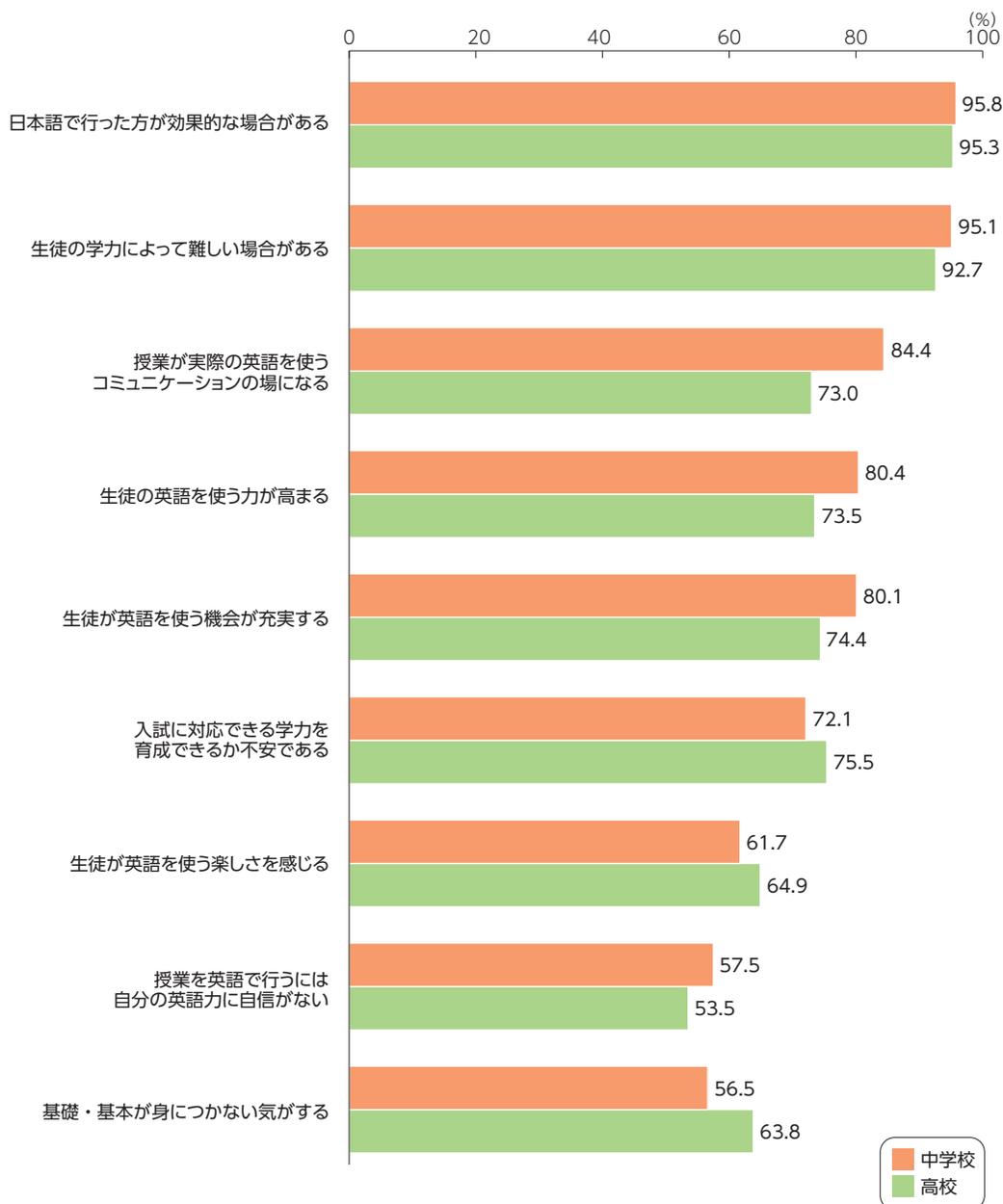
*各棒の外側にある数値は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

「授業は英語で行うことを基本とする」ことについて、その考えやねらいを肯定的に捉えている教員が多い。

「授業は英語で行うことを基本とする」ことによって、「授業が実際の英語を使うコミュニケーションの場になる」「生徒の英語を使う力が高まる」「生徒が英語を使う機会が充実する」と肯定的に捉えている教員が多い。一方で、難しさや不安を感じている様子も見取れる。

Q 「授業は英語で行うことを基本とする」ことについてどのように感じますか。

図3-3 「授業は英語で行うことを基本とする」ことについて



*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。